

2008年6月16日改訂

2007年10月30日改訂

2005年10月19日改訂

## エスベック製品におけるアスベストの有無&lt;早見表1&gt;

※2006年7月以降に製造された製品については、アスベストの使用はありません。

2005年8月31日作成 環境管理部

使用の有無	商品名	型式 ※1	シリーズ	主な使用部位 ※1	非アスベスト部材への切り替え時期 ※2
アスベストを使用していない	恒温恒湿器(小型環境試験装置)	SH, SU	全型式	—	—
	恒温恒湿器(ラボヒューミダー)	LH, LU, LHL, LHU	全型式	—	—
	恒温恒湿器(クライマテックチャンパー)	CRH, CSH, CR	全型式	—	—
	恒温器(小型高温チャンパー)	ST, STH	全型式	—	—
	低温槽(ミニサブゼロ)	MC	全型式	—	—
	冷熱衝撃装置	TSA (空冷仕様)	41, 71, 101, 201, 301	—	—
		TSB (空冷仕様)	2, 5	—	—
		TSB (空冷仕様)	21, 51	—	—
	ハストチャンパー	EHS	全型式	—	—
恒温恒湿器(プラチナスチャンパー)	PH, PR, PL, PU, PSL, PGの4型(空冷仕様)のみ	G/F/S/Kの各シリーズ	—	—	
恒温器(パーフェクトオープン)	STPH, SSPH	101, 201	—	—	
アスベストの使用あり	恒温恒湿器(プラチナスチャンパー)	PH, PR, PL, PUの1型~3型	Gシリーズ(PL-1GMほか)	送風機(ラインフローファン)取付板の断熱材	—
		PH, PR, PL, PUの1型~3型, PSL, PGの2型	Fシリーズ(PL-1FPほか)		—
		PH, PR, PL, PUの1型~3型, PSL, PGの2型	Sシリーズ(PL-1STほか)		—
	恒温器(パーフェクトオープン)	PS, HPS	全型式	扉内箱断熱部、本体額縁部、ヒーターユニット断熱材	—
	恒温器(ギヤオープン)	GPS, GHPS	全型式	—	—
	恒温器(イナートオープン)	IPS, IPHS	全型式	—	—
	恒温器(セーフティオープン)	SPS, SHPS	212, 222, 232	扉内箱断熱部、安全扉額縁部、本体額縁部	—
	恒温器(セーフティオープン)	SPS, SHPS	242	扉内箱断熱部、本体額縁部	—
	恒温器(パーフェクトオープン)	STPS	212, 222	扉内箱断熱部、本体額縁部、ヒーターユニット断熱材、ケーブル孔断熱材、排気口フランジ断熱材	—
	恒温器(クリーンオープン)	RCOF	全型式	本体函体断熱材、ケーブル孔断熱材	—
	恒温器(クリーンオープン)	PVC, PVHC	210, 230, 330	扉断熱材、ケーブル孔の断熱リング	—
冷熱衝撃装置	TSR	全型式	①ヒータユニットの断熱材 ②本体断熱材	—	
時期によりアスベストの使用あり ※3	水冷仕様の製品			水冷配管の継手部パッキン	2006年6月
	恒温器(パーフェクトオープン)	PH, PHH, SPH, SPHH, GPH, GPHH, IPH, IPHH	100	扉内箱断熱、ヒーターユニット断熱材	1993年
			200		
			300		
			400		
		PV, PVH	全型式	扉断熱材	1992年
	恒温器(ラボオープン)	LC, LG	全型式	扉観測窓断熱材、天井排気孔部品、内槽受材	1999年
恒温恒湿器(プラチナスチャンパー)	PH, PR, PL, PUの1型~3型, PSL, PGの2型	Kシリーズ(PL-1KTほか)	送風機(ラインフローファン)取付板の断熱材	2002年	
ハストチャンパー	TPC	211, 221, 411, 421, 211D, 411Dほか	詳細は別紙資料<早見表2>にてご確認ください。		
冷熱衝撃装置	TSE	11	ダンパー軸用パイプの断熱リング	2003年	

この表は、お客様先でご使用中の製品がアスベストを含むか否かを確認するための早見表です。

※1. 対象製品や使用部位などの情報は代表的な事例です。詳細は、弊社窓口までお問合せください。

※2. この切り替え時期以降、アスベストは使用していないことを示します。

※3. 製品により、これより早い時期に非アスベスト対応を行なっている場合があります。

※4. 製品オプションについての詳細は、弊社窓口までお問合せください。

※5. アスベストに関する調査は継続実施中です。新たな情報については入手次第、随時更新させていただきます。